



かどま 社協



66号
2020年(令和2年)
2月1日

編集・発行

社会福祉法人 門真市社会福祉協議会

〒571-0064 門真市御堂町14-1 TEL 06(6902)6453 FAX 06(6904)1456

だより



高校生
でも

障がいがあっても

特技を活かして

人生100年時代
誰もが輝くかどまの未来



インタビュー
してきました!

高垣秋子さん
民舞 龍秋会
(ボランティアグループ)

Q. はじめるきっかけは?

A 踊りは結婚してからずっと続けていました。ボランティア活動をはじめるきっかけは夫の母が介護施設に通い始めたときのことで、それまで通うことを拒否していた母でしたが、担当のヘルパーさんの柔らかな対応で進んで通えるようになりました。そのヘルパーさんへの感謝の気持ちを踊りに込めてその施設で披露したのが初めてのボランティア活動です。そこから慰問活動を始めました。

Q. 活動を通してどんなことを感じましたか?

A 施設に行けば毎回感動します。ある施設で、私たちの踊りに合わせて踊ってくださる利用者さんがいました。帰りに職員さんから伺いましたが、その人は普段話もしなければ、体も動かない人だったそうです。そんな人が私たちの踊りで音楽に合わせて一緒に踊っていただきとてもうれしかったです。

踊りは、しっかりと目の前の人を見つめ全身で表現します。私たちの踊りを見て大きな声でお礼を伝えていただく人や、涙まで流される人もいて本当にありがたい限りです。そしてお互いに感動し合うことのできるこの活動は貴重な経験だと思います。

Q. これからしてみたいことはありますか?

A これまで通り、「また来てくださいね」といつまでも言っていただけの踊りを披露していきたいです。その言葉が本当に嬉しいです。まだまだ頑張ろうと思う活力になります。そして慰問活動を通して日本の伝統文化を伝え続けていきたいと思っています。



人生100年時代といわれるこの令和の時代だからこそ、世代を超えて多様なボランティアのみなさんが活躍しています。今回は門真でボランティアとして活躍する3名にインタビューし、ボランティア活動に対する想いを語っていただきました。

末松由羽さん
高校2年生
(個人登録ボランティア)

Q. はじめるきっかけは?

A 実際にボランティアに興味を持ったのは小学生の頃で、テレビで災害ボランティアのニュースを見たことで「私も誰かのために何かしたい」と思うようになりました。

Q. 活動を通してどんなことを感じましたか?

A 最初は不安な気持ちもありましたが、ボランティアは色々な人とつながる「出会いの場」だと私は思います。

実際に施設の利用者さんや職員さんとお話をしながら活動していますが、みなさんフレンドリーで楽しいです。また、活動先には先輩ボランティアさんも一緒に活動しているので、色々教えていただきながら活動しています。私から見ると、みんな人生の先輩なので、教えていただくことも多く、色々な出会いから興味の幅も広がりました。

今度は編み物とか教えてもらいたいです。これもボランティアの楽しみ方だと思います。

Q. これからしてみたいことはありますか?

A 私は、将来看護師を目指していますが、介護にも興味を持っています。高齢者施設でのボランティア活動は、私の将来にも生きてくるので、これから受験勉強もありますが、時間を見つけて活動も続けていきたいと思っています。



福井英二さん
福祉教育
ボランティア講師

Q. はじめるきっかけは?

A 今まで大人の手話教室ばかりで子どもたちが手話を学ぶ機会が少なく感じていました。子どもの頃から手話にふれ、親しみを持って手話の勉強をしてくれる子どもが増えたらいいなと思ったのがきっかけです。

Q. 活動を通してどんなことを感じましたか?

A 私は、自分の障がい(聴覚)のことや手話について小学校の授業で子どもたちに伝えています。子どもたちから「着替えやお風呂はどうしているの?」と質問をよくいただきます。最初はなぜこんな当たり前のことを質問されるのか不思議でした。よくよく考えると子どもたちは、純粋に「障がい=何もできない」と思っていることに気づきました。

私には障がいがある原因で「できないこと」はもちろんありますが、「できること」もたくさんあります。また「できないこと」でも、支えてもらうことで「できること」に変わることもあります。そうしたことを子どもたちに伝えていきたいと思ひますし、それをできるのがこの活動の魅力だと思います。

Q. これからしてみたいことはありますか?

A 今は小学校で挨拶や普段よく使う言葉を手話体験で教えています。限られた時間での体験なので、多くの手話を学ぶことはできません。今後は可能であれば、子ども向けの「ミニ手話教室」を開き夏休みや冬休みを使ってやってみたいと思います。



団体のみなさまへ



令和2年度

組織構成会員の加入のお願い

社会福祉法において、社会福祉協議会は「地域福祉を推進する中心的団体」と位置づけられ、市内の社会福祉事業を経営する方や活動を行う方の参加が定められています。

本会では、令和元年12月現在、組織構成会員として65団体の方々が加入されていますが、より一層のご加入をお願いいたします。

組織構成会員として加入いただきますと、それぞれの立場・領域にわけ、各領域より評議員を選出し、社協の運営に主体的に関わっていただきます。

(年会費は1口3,000円です)

平成 31 (2019) 年度社会福祉法人門真市社会福祉協議会 組織構成会員一覧	
領域Ⅰ:住民代表的な性格のつよいもの	〈民間保育園〉
門真市自治連合会	社会福祉法人 向日葵福祉会
門真市赤十字奉仕団	社会福祉法人 友愛福祉会 おおわだ保育園
一般社団法人 守口門真青年会議所	社会福祉法人 まこと鳴滝会 まこと小路保育園
守口門真商工会議所	社会福祉法人 めぐみ保育園
門真市消防団	社会福祉法人 雅福祉会 うちこし保育園
〈校区福祉委員会〉	社会福祉法人 小百合苑
大和田校区福祉委員会	社会福祉法人 晋栄福祉会 智鳥保育園
上野口校区福祉委員会	〈ボランティアグループ〉
東校区福祉委員会	ボブラの会
四宮校区福祉委員会	みどり会
門真校区福祉委員会	点訳サークル「さつき」
古川橋校区福祉委員会	音訳ボランティア アクセント
五月田校区福祉委員会	門真市筆記通訳グループ「たんぽぽ」
速見校区福祉委員会	手話サークル「くすの木」
二島校区福祉委員会	日本車椅子レクダンス協会 門真支部
沖校区福祉委員会	手話グループ ひまわり
北巣本校区福祉委員会	NPO 法人 SA 門真の会
脇田校区福祉委員会	民舞 龍秋会
砂子校区福祉委員会	朗読ボランティアグループゆりかご
みらい第1校区福祉委員会	傾聴ボランティアグループこころの耳会
みらい第2校区福祉委員会	〈特定非営利活動法人〉
領域Ⅱ:福祉専門機関・団体的性格のつよいもの	特定非営利活動法人 ひかり
門真市民生委員児童委員協議会	特定非営利活動法人 なごみ広場
門真地区保護司会	領域Ⅲ: 当事者団体的性格のつよいもの
公益社団法人 門真市シルバー人材センター	門真市老人クラブ連合会
〈介護保険事業所〉	門真市身体障害者福祉会
社会福祉法人 ロータス福祉会 特別養護老人ホーム門真荘	門真市遺族会
社会福祉法人 イースト・ロード福祉会 特別養護老人ホームはるかのかの郷	門真市介護者(家族)の会
社会福祉法人 晋栄福祉会 ナーシングホーム智鳥	門真市母子寡婦福祉会
社会福祉法人 スリーヴィレッジ 特別養護老人ホームつくしの里	特定非営利活動法人 門真市手をつなぐ育成会
社会福祉法人 三養福祉会	領域Ⅳ: 関連分野団体
〈障がい福祉サービス事業所〉	門真市人権協会
社会福祉法人 門真共生福祉会	門真市企業人権推進連絡会
社会福祉法人 つばき会	一般社団法人 門真市医師会
社会福祉法人 蓮根会 障セ・ウィタン	一般社団法人 門真市歯科医師会
社会福祉法人 恵光美会 仲間の家たけのこ	門真市薬剤師会
(順不同) 令和元年12月6日現在	門真エイフボランタリーネットワーク

ご協力ありがとうございました!

平成31(2019)年度
賛助会員(会費)募集
中間報告 (令和2年1月9日現在)

5,229,085円

内 訳

●市内小学校区別(下表)

●その他市内事業所関係・個人・庁内等

4,819,300円
409,785円

市内小学校区別			
校 区	金額(円)	校 区	金額(円)
速 見	335,000	沖	231,500
古川橋	393,400	北巣本	157,000
みらい第1	586,900	四 宮	352,500
みらい第2	547,500	東	236,500
門 真	524,500	脇 田	118,000
大和田	212,500	砂 子	95,500
上野口	339,000	二 島	446,000
五月田	243,500		

特別賛助会員 (順不同・敬称略)
令和2年1月9日現在 現在

個 人

事業所など

2万円

2万円

野田 武臣

松下 憲一

三浦 俊秀

(株)大宝建設

1万円

(株)天辻鋼球製作所

(株)越智製作所

(福)門真共生福祉会

門真市教職員組合

(公社)門真納税協会

(医)津樹会

田村工業(株)

門真市民生委員児童委員協議会

綾川歯科診療所

パナソニック(株)

(一社)門真市医師会

(一社)門真市歯科医師会

門真園芸(株)

ホテルシルバー

栗原木工(株)

高橋医院

一般会員(一口500円)

7,140人

金額:3,595,000円

特別会員(一口1,000円)

416人

金額:439,000円

特別賛助会員(一口10,000円)

28件

金額:320,000円

その他

金額:875,085円



令和2年度
賛助会員
(会費)募集

本会では、一心ふれあう福祉のまちづくりの実現を目指して、校区福祉委員会や自治会、民生委員ボランティア、行政などの関係団体の協力を得ながら、住民の支えあいのネットワークによる地域福祉活動を推進しています。

少子高齢、人口減少社会の進行や、家族形態の多様化により、家庭や地域で支えあう機能は低下し、児童や障がい者・高齢者の虐待、失業・貧困を起因としたホームレスや自殺・孤独死など、公的制度だけでは対応できない多様な生活福祉課題が増大しています。このような中、住民の支えあいによる地域福祉への期待はますます高まっています。

本会が実施する在宅福祉サービスや校区福祉委員会の地域福祉活動はその役割を担っており、みなさまの多大なご理解とご協力は大きな財源となっています。

今後も地域福祉の推進を図るべく、令和2年度の門真市社会福祉協議会の賛助会員(会費)の募集をいたします。趣旨に賛同いただき、ひとりでも多くの市民のみなさまや企業・各種団体の方々のご理解とご支援をお願いいたします。

みなさまから頂戴しました賛助会費は、40%が市内の校区福祉委員会活動の補助金となり、残り60%は、他の助成金と合せて地域福祉活動の財源となっています。

賛助会員区分

一般会員会費

500円から

特別会員会費

1,000円から

特別賛助会員会費

10,000円から

(会費の方に対する義務や権利等はありません。)

貸出し用車いすが
不足しています
あなたの想いつなげます



通院や散歩に不便を感じている方、また病気やケガなどで一時的に歩行が困難になった方などに対して、3ヶ月間を限度に、無償で車いすの貸出しを行っています。

※ただし、申請者か利用する方が門真市内在住の方に限ります。貸出し窓口は本会と南部市民センターの2か所です。貸出しを希望される方は印鑑をご持参の上、各窓口までお越しください。

詳しくは本会までお問い合わせください。

本会の貸出し用車いすは、市民のみなさまや企業・団体の方から「地域福祉の向上に役立ててほしい」という想いで寄贈していただいております。

寄付をしていただければ、車いすがありません、本会までご連絡ください。

※使用者の安全を考慮し、寄付をしていただく車いすは新品もしくは新品同様のものをお願いいたします。



令和元年12月
千成ヤクルト販売株式会社様から
車いすを寄贈していただきました

電話: 06-96002-6453

寄付お礼

福祉基金・善意銀行にご理解とご協力を賜りまして
厚くお礼申し上げます。
(令和元年9月16日から令和2年1月15日受付分)

福祉基金

オガワカイロ院
株式会社中田米穀店
坂井医院
(敬称略・順不同)

善意銀行

けいはん医療生活協同組合
みどり診療所
一般社団法人門真市医師会
会長 高橋英治
千成ヤクルト販売株式会社
明るい社会づくり運動
門真はすはな会
匿名 1件
(敬称略・順不同)



赤い羽根共同募金

2019年度 共同募金運動にご協力ありがとうございました

令和元年10月1日から12月31日にかけて、今年度も赤い羽根共同募金運動を実施いたしました。自治会を中心とした市民のみなさまをはじめ、法人・各種団体など、様々な形で協力をいただきました。心から感謝申し上げます。



2019年度共同募金実績額 合計 **3,691,307円**

募金の種類	募金額	募金の種類	募金額
戸別募金	2,958,621円	街頭募金	127,478円
職域・法人募金	150,708円	バッジ・その他募金	454,500円



街頭募金

街頭募金にご協力をいただいたみなさま、ありがとうございました



10/2 門真市民生委員児童委員協議会による古川橋駅前での様子



11/23 こどもから大人までたくさんの方に募金していただきました



赤い羽根ポップコーン「やさしお味」269食を売り上げました



11/17 門真ボーイスカウト協議会による街頭募金の様子

令和元年11月23日(土)に開催された弁天池ふれ愛感謝祭にて、門真市ボランティアグループ連絡会と共催で赤い羽根共同募金街頭募金を実施いたしました。

街頭募金では、売り上げの全額が赤い羽根共同募金への募金となる「赤い羽根ポップコーン」の販売や、募金をしていただいた方に限定グッズの配布を行いました。赤い羽根ポップコーンは26,900円の売り上げとなり、街頭募金では35,911円の募金が集まりました。



災害義援金募金箱を設置しています
令和元年台風第19号災害義援金
令和元年台風第19号に伴う被災により、各地で人的被害をはじめ、堤防の決壊による住宅への浸水被害、土砂崩れによる家屋の倒壊等の甚大な被害が発生し、複数都県の市町村に災害救助法が適用されました。
本会では、被災された方々を支援することを目的に、本会窓口で募金箱を設置しております。
本会で集まった義援金は、大阪府共同募金会を通じ中央共同募金会に送られます。詳しくは本会までお問い合わせください。

日常生活自立支援事業

この事業では、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理をお手伝いすることで、住み慣れた場所で安心して生活していただけるようにサポートします。相談は無料です。

詳しくは本会までお問い合わせください。

★★対象となる方★★

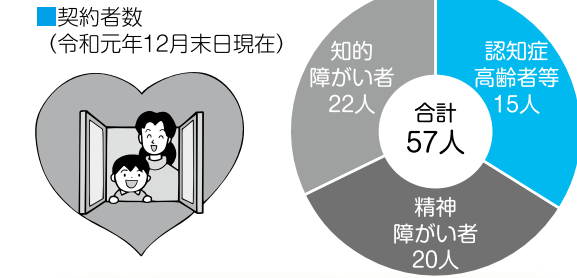
(下記のすべてに該当する方)

- 門真市内にお住まいの方
- 物忘れが多くなった高齢者や知的障がい・精神障がいをお持ちの方で、日常生活を営むにおいて判断能力が不十分の方（身体的な理由のみで、入出金や支払等を行うことができない方については対象となりません）
- 近くに身寄りがない方
- 契約時において、本人がサービスの利用を希望し、その意思が確認できる方

★★サービスの内容★★

福祉サービスの利用援助
福祉サービスに関する情報の提供や、サービスを受けるにあたっての手続きなどを援助します。
日常の金銭管理サービス
医療費や福祉サービスの利用料、家賃や公共料金等の支払いを代行します。また、必要な生活費を定期的にご自宅までお届けします。
通帳・書類等の預かりサービス
保管を希望される重要な書類等を本会が契約する金融機関の貸金庫にて保管します。 例) 預金通帳、年金証書、印鑑など

※サービスのご利用にあたり、所得の状況に応じて年会費およびサービス利用料が必要となります。
・年会費 (1,000～5,000円)
・金銭管理サービス利用料 (1回につき0～1,000円)
・貸金庫利用料 (1ヶ月あたり200円)



OIU・OIC 防災フェスタ2020

日時 2020年2月23日(日) 10:00～15:00
場所 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部守口キャンパス
生活に役立つ講義や子ども防災教室・起震車での地震体験など役立つ防災イベントが盛りだくさん
主催 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部
共催 守口市社会福祉協議会・門真市社会福祉協議会
後援 守口市・門真市
協力 守口消防署・守口市赤十字奉仕団・大阪府枚方土木事務所・自衛隊大阪地方協力本部北東地区隊
申込方法 メールまたはFAXでお申し込みください。
件名: 防災フェスタ2020参加希望
本文に参加者氏名、住所(町名まで)、電話番号をご記載ください。
メール: collabo@oiu.jp
FAX: 06-6902-0619

認知症予防リーダー入門講座 受講生募集

認知症予防につながる認知症予防ゲームの進め方を学び、地域で活躍するリーダーを養成します。地域のサロンや施設で活かすことができます。

日程	第1回	第2回	第3回	第4回
2月21日(金)	2月28日(金)	3月6日(金)	3月13日(金)	
午後1時から午後4時				
内容	認知症予防について(座学) 輪になってウォーミングアップ(実技)	優しいシャワーについて(座学) 輪のままでスキップ(実技)	予防ゲームはなぜ効果があるのか(座学) 座ってクライマックス①(実技)	予防教室のボランティア講座について(座学) 座ってクライマックス②(実技)

場 所: 門真市保健福祉センター (住所: 門真市御堂町14番1号)
対 象: 門真市在住・在勤の方で、地域活動に携わっている方または、関心ある方
募集人数: 20名(先着順)
講 師: NPO法人認知症予防ネット
申込期間: 令和2年2月3日(月)～17日(月)
申し込み・問合せ: 社会福祉法人 門真市社会福祉協議会 ボランティアセンター (電話番号: 06-6902-6453)

ゲームの進め方や配慮すべきポイントを学びます

学ぶ、知る、考える 「ひろがる福祉教育」

福祉教育は、福祉の理解や関心を深めることを目的に、地域で暮らす障がい者やボランティアの協力のもと実施しています。今年度は5つの小学校で実施しました。

■ 令和元年度実施報告(令和元年12月時点)

学校名	学習内容
脇田小学校	聴覚障がい者のお話、手話体験
脇田小学校	視覚障がい者のお話、点字体験
二島小学校	視覚障がい者からのお話、バリアフリーとユニバーサルデザインについて
4年生(日曜参観)	聴覚障がい者のお話、手話体験
東小学校	視覚障がい者のお話、点字体験
4年生	視覚障がい者のお話、点字体験
門真小学校	視覚障がい者のお話、点字体験
1年生	視覚障がい者のお話、点字体験
北泉本小学校	視覚障がい者のお話、点字体験
4年生	視覚障がい者のお話、点字体験

子どもたちにオカリナで「もみじ」の演奏をプレゼントする 中谷末弘さん

日頃の生活で使う手話を体験学習



市内15の概ね小学校区ごとに組織された校区福祉委員会は、各校区で様々な活動を行っています。あなたも参加してみませんか？詳しくは本会までお問い合わせください。

個別援助活動

見守り声かけ訪問

◆大和田校区◆



見守り声かけ訪問(お誕生日のプレゼント配布)



根来 美代子さん



活動について

印象に残っていること

心がけていること

今後の目標

65歳以上の一人暮らし高齢者の方へお誕生日月にプレゼントを持って訪問しています。毎月約10～20名の対象者へお届けしています。また年に数回お風呂券をプレゼントしています。行事(敬老会、おひな祭り、歩こう会)の度に欠席された方を訪問しています。

お誕生日のプレゼントをお届けに行きましたがお返事がなく、隣にお住まいの方からご本人は入院されている事を教えていただきました。このように、お尋ねすることで知り得ることがあり、またお会い出来ればお顔を見ながら近況を伺えるので、訪問をする事はとても大切な事だと思っています。

訪問する際に、元気にあいさつすることを特に心がけています。元気な声と温かい気持ちで訪問しています。

出来る限り行事に参加してもらう事を目標にしています。行事当日の午前中に、行事参加回数の少ない方へお誘いの声かけをしたら、たくさんの方が参加してくれました。当日に「来てね。」とお誘いに行くのは大事な事だと思いました。ひきこもりを防ぐためにも出来るだけお誘いの声かけをして参加していただけたらと願っています。

グループ援助活動

いきいきサロン・子育てサロン・ふれあい食事サービス・世代間交流

◆古川橋校区◆



ひとり暮らしのお年寄りのつどい(歌劇団の舞い)

安田 道子さん



年に2回ひとり暮らしのお年寄りのつどいを開催しています。70歳以上の方を対象に民生委員が声掛けをし、参加を募ります。当日はみんなで替え歌を唄ったり、輪唱したり、大声を出す楽しい時間です。役員が手作り衣装を着て歌って踊り盛り上げます。

富園 弘道さん



上馬伏宝寿会は地域の民生委員と年に数回自治会館に集まり、色々な催しをいたします。今回は少し早めのクリスマス会を開催しました。私がつい口を滑らすとみなさんは「会長は一言多い」と二言も三言も返ってきます。そんな喜怒哀楽を素直に出しお話ししています。孝行できなかった今は亡き父や母と思い接しております。

◆四宮校区◆



クリスマス会

◆門真校区◆



ふれあいお食事会(腹話術を楽しんでいる様子)

稗島 義信さん



年に2回(概ね11月・3月)、65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、校区ふれあいお食事会を開催しています。参加者のみなさんにたくさん笑って楽しんでいただけるような内容を一生懸命考えております。この会への参加により顔見知りやお友達になられて、一人でも多くの方のひきこもりを防ぐ活動につながれば良いと考えています。

松井 小夜さん



地域の高齢者の方が屋内で気軽に楽しむスポーツはありますかと社協に相談し「ディスコン」を紹介され自治会館で活動始めて2年半になります。月2回第1・3金曜の午後、ディスコンを楽しみ仲間作りをしています。興味のある方は、一度見学に来て下さい。

◆二島校区◆



ディスコンの会(お楽しみ会)

W受賞

厚生労働省・スポーツ庁主催「健康寿命をのばそう・アワード」介護予防・高齢者生活支援部門 厚生労働大臣最優秀賞

NHK厚生文化事業団主催「認知症とともに生きるまち大賞」本賞

ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会

門真で頑張っているみなさま表彰されました！



↑厚生労働省にて表彰式が行われ、実行委員会のメンバーで出席いたしました



↑東京国際フォーラムにて表彰式が行われました

傾聴ボランティアグループ「ニッソの耳会」

大阪府社会福祉ボランティア知事表彰

令和元年11月26日に大阪国際交流センターにて大阪府社会福祉協議会主催の令和元年度大阪府社会福祉大会が開催され、知事表彰を受賞されました。

【活動内容】

傾聴ボランティア養成講座の修了生で結成されたグループです。社会福祉施設への訪問活動が主な活動となっており、その他にも、地域住民を対象とした「傾聴サロン」も開催し幅広く活動されています。

(傾聴サロン)

毎月第2水曜日

毎月第4水曜日

門真市民プラザ 保健福祉センター